

# おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト

## Ota Creative town research project



②学生がガイドを務める「モノづくりの街に住みたくなるツアー」



③街の情報をコンパクトにまとめたツアー冊子「FAB TOWN BOOKLET」



## モノづくりのまちづくり～工場のまちの魅力を次世代に継承する～

Town planning utilizing manufacturing

—Passing down the charm of the factory town to the next generation—

大田区は中小の町工場が日本一集まる街として、工場を中心に地域のコミュニティが形成されてきました。しかし近年、後継者不足などで工場が廃業、その跡地に住宅が建て替わり、地域外から移り住む人が増えています。その中で工場と住民の関係希薄化や、工場数の減少による街の個性の消失が危惧されています。そこで私たちは「工場と住民が良好な関係を築き、誰もが気軽にモノづくりを楽しめる街」を目指し、モノづくりを活かしたまちづくりに取り組んでいます。

大田区内の町工場を一斉公開し、見学や体験を提供するイベント「おおたオープンファクトリー」に学生企画で参加しています。今年は3つのオンライン企画と8つの多彩なツアーを実施。その中で私たちは「下町風情や創作活動に関心ある方向けに”モノづくりのまちに住みたくなるツアー”を企画・実施しました。

### ①インタビュー記事作成・まちの日常風景紹介

ツアー参加者へ事前に街の雰囲気伝えるコンテンツをWEBページで公開しました。

- i) お住まいの方・町工場の職人から見た町の様子を伺ったインタビュー記事
- ii) 街の日常風景を撮影し、”町工場”や”生活の風景”などテーマごとに紹介

### ②ツアー実施

モノづくりのまちの魅力が体感できるルートでTシャツ工場や建築設計会社、地元の酒屋、地域の交流拠点の4つのスポットを訪れ、10名の参加者と工場見学やモノづくり体験をしました。

### ③ツアー冊子作成

ツアー参加後も町に興味を持ってもらえるようルート・スポットの紹介や様々なライフスタイルの提案、コラムなどを詰め込んだ冊子を作成しました。

今までの活動を継承・発展し、地域住民が日常的に街の魅力を感じられる「地域への浸透」や、他団体とも連携し大田区全体へ「活動規模の拡大」を図ります。

■学生：7名（氏名 石井良依、都築詩音、小泉勇真、長谷川帆奈、的羽佑菜、中西豊、平山知実/ 担当教員：野原卓

■連携・協力：一般社団法人おおたクリエイティブタウンセンター、一般社団法人大田観光協会

■活動地域：東京都大田区（特に、東急多摩川線武蔵新田駅・下丸子駅周辺）

■サイト：<https://www.o-2.jp/mono/oof2021/>